

柔道用畳引渡式の実施

2月18日、柳秀直大使は、フセインユースシティのプリンス・ラーシド格闘技館にて、ヨルダン柔道連盟主催の柔道用畳の引渡式に出席しました。計272.5畳の中古畳は、ヨルダンにおける柔道の活性化のため、全日本柔道連盟がヨルダン柔道連盟に対して無償で提供し、ヨルダンまでの輸送費を負担したものです。この取り組みは、東京オリンピック・パラリンピックに向けたスポーツ交流拡大を目指して日本政府が掲げる「スポーツ・フォー・トゥモロー」事業の一環として位置付けられています。

引渡式において、ヨルダン・オリンピック協会のマジャーリ事務局長とヨルダン柔道連盟のアップバーディ会長は、日本からこのような協力を頂き感謝する旨、そして供与された畳を活用してヨルダン柔道界の発展に尽力する旨述べました。

柳大使からは、このように畳供与という形で結実した全日本柔道連盟とヨルダン柔道連盟との協力を謝意を表し、またヨルダンで多くの選手が柔道に取り組んでいることに感銘を受けている旨、また、ヨルダンの柔道選手の東京五輪への出場と活躍に期待している旨述べました。



ヨルダン柔道連盟と、畳の分配を受ける国内各地域の柔道クラブのメンバーが引渡式に参加



供与された畳の上で、柔道ヨルダン代表選手達が練習